



日時：2019年6月19日（水）8:45~12:00、活動場所：木もれびの森H地区（みんなの森）  
 今年は、双葉小学校3年生93名にお会いできるのは、この一日だけです。木もれびの森を知っていただく貴重な時間になりました。

H地区は、双葉小学校の生徒さんたちが9年前に、ここにコナラ・クヌギの苗木を植えた場所です。それが今は大きく育っています。ここの草を刈るのが、今日の体験学習です。まずは、頭の体操、軽く体を動かす運動、木もれびの森の話（1699年からこの相模原の大地は、姿を変えてきました。藁ぶき屋根の材料を採る、炭を作るためのコナラ・クヌギの植林、畑を作る、そして今は住宅地、首都圏に近いところで平らな森が広がる珍しい場所になりました）。



そして今日草を刈るのはどうして？昔は草を刈って畑に入れて肥料にしました。でも畑ではなくなったので、そのままに残します。バクテリアが葉っぱを食べます。そして森の木々の栄養になります。そのために、草を刈り方を学びましょう。さあ、クラスごとに一列に並んで草を刈り始めました。始めると、虫がいます。花が咲いています。暑い日差しの中で疲れました。木の根元の草はよく刈ってね。草刈は終わって休憩。その後は、今刈り取った草を、白い紙に貼りましょう。分かった草や花などの名前を書きましょう。この広場にいろいろな生き物が住んでいることがわかりました。最後に生徒さんたちに聞いた。「楽しかった」「いろいろな植物がありますね」「草刈は初めて体験した」「鎌を初めて持った」「慣れなかったけどいい経験だった」「いろいろな葉っぱがあることを知りました」「森には植物や動物がいっぱいあることを知りました」。森を知ることができたことに、お手伝いできました。またいつか、木もれびの森に来てくださいね。お待ちしております。



後日に頂いた感想・礼状9枚のうち3枚をInstagramに掲載しました。